

全国高等学校美術・工芸教育研究会 R8 大阪大会に向けた検討事項について

2023年3月

大阪府立港南造形高等学校 内藤 さや

現在までの検討された内容について大阪大会仮案を記載いたします。

- 1) 会 期 令和8年 10月22日(木) 23日(金)
- 2) 開催の方法 集合形
 (記録や対応で zoom や YouTube も併用可能)
- 3) 会 場 大阪成蹊大学 駅前キャンパス (south 館)・南館 (美術棟)
 (開会式は、こみちホール使用。懇親会は学生食堂8階。)
 〒533-0007 大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10-62・(最寄り駅 相川駅)
- 4) 目 的 全国の高等学校美術・工芸教育の充実と振興を図る
- 5) テーマ (仮) 美術・工芸教育のイノベーションを考える ～過去→現在→未来～

これからの美術を考えるとということ。これまでの方法を受け継ぐことも大切、これから新しい技術を取り入れていくことも必要。教育のサバイバル、美術・工芸教育も残していけない状況なのかも知れないですが、AIには出来ないことが美術・工芸の中にこそある。3つの分科会ではそのために何ができるのかを考察する。

(分科会)

第1分科会 開発的イノベーション

ICT教育など新しい技術をどのように取り入れていけば効果的か、また、問題点(生成AI・著作権の問題)などについて考える。新技術と美術教育がどのように共存していくか考えていく。

第2分科会 継承的イノベーション

昔からうけつがれる技術や、手仕事の良さを再認識しこれからの美術授業にどのように取り入れるか考える。

第3分科会 鑑賞のイノベーション

アート思考を生む、美術工芸の鑑賞は今後どのように社会のなかで必要とされていくのか？

全体会 イノベーションのジレンマ

美術・工芸教育イノベーションを考えるうえで、理想と現実のギャップ(仕事の効率化等)をどう埋めるのか、各分科会で話し合ったジレンマについて考察する。

6) 記念講演者 (大阪にゆかりのあるアーティスト)

7) 助言者 各分科会に1名、計3名。

7) 参加費 6,000円から8,000円程度

8) 運営組織 以下は前回大阪大会の組織

- ①大会委員長・・・(美術の管理職・校長)
- ②大会副委員長・・・(芸術の管理職から)
- ③大会実行委員長・・・大阪府高等学校美術・工芸教育研究会会長
- ④大会実行副委員長・・・(必要あれば)
- ④大会事務局長・・・大阪府高等学校美術・工芸教育研究会副会長
- ⑤大会事務局・・・事務局

この下に総務係(事務1総務1)、
会計係(事務1会計1)、
企画運営係(企画5研究5)など